

令和7年度第3回真菅北小学校運営協議会会議録

I 活動実績

会場 開催日時	出席者
真菅北小学校 応接室 2月24日(火) 10時00分~11時30分	本塚芳男 森島秀昭 田中佑美子 中井賢二 森本九永子 甲元美恵子 松本文美子 山林信仁(市教委) 合計 7名

議題及び主な意見
<p>案件①あいさつ 本塚会長より</p>
<p>案件②学校運営に関する協議</p> <p>学校評価アンケート結果の報告</p> <p>▲主体的に学ぶ力の育成が必要</p> <p>○年間通した人権の取り組み、自尊感情は低い</p> <p>○挨拶、少しずつできるようになっている。児童の中では僅かながらも変容している。</p> <p>○学校行事等みんなで取り組むことの楽しさを感じている</p> <p>▲読書量が少ない</p> <p>▲体を動かす、体力づくり</p> <p>意見交換</p> <p>・自尊感情の低さについては、他人の評価を気にして自分を出せない子がいる。親の自己肯定感の低さも影響しているのでは。「あれもできていない、これもできていない」できていないことが目に付く。小さなことでも褒める。自信を持たせる。</p> <p>・体力づくりについて、昔と比べて存分に体を動かす環境も時間も少なくなっている。放課後の外遊びについては、安全面の不安もあり、子どもだけで遊びに行かせにくい実態もある。</p> <p>・あいさつについては、親世代も含めて「知らない人とは喋ってはいけない」という教育を受けてきている。今の6年生が入学した時からコロナが始まり、人との会話やつながる経験が乏しい。</p> <p>・大切なのは①興味づけ②環境づくり</p> <p>勉強、運動、読書、遊び、すべてにおいて興味がないと始まらない。どれだけ興味を持たせることができるか。そして、存分に体験させるか。スマホ・AI 子どもを取り巻く環境は変わってきているが、経験を通して成功体験を積み重ねる。そして自分に自信をもち、自分を好きになる。</p>

案件②

見守りボランティアの募集と「こどもあんぜんのまち」プレートの設置について

- ・高齢化による地域見守りボランティアが減少
新たに協力依頼（自治会回覧板、地域福祉、民生児童委員）
- ・「あんぜんのまち」プレートは設置場所の再確認が必要。人が住んでいない空き家にも掲げたままになっているところがある。
- ・設置場所を再確認する（PTA）
- ・新規募集、設置の依頼（学校→自治会に依頼、PTAで調査）
→ MAPの作成？

案件④クリーンキャンペーン

- ・自治会クリーンキャンペーンとPTAのクリーンキャンペーンを夏休み中、同日に行っていた。名称は同じであるが、共催ではなくそれぞれ別の活動である。
- ・近年の夏の暑さにより、PTAのクリーンキャンペーンについては、昨年度から学期末の大掃除の際、ふだん児童の手では行き届かないトイレ掃除と窓ふきをしてもらっており、今後もこの内容で継続する方向。
- ・通学路の安全点検については、昨年度から保護者の見守り活動を実施しているため、毎朝の登校時及び、引き渡し訓練の親子下校時に確認しているため、自治会のクリーンキャンペーンと兼ねる必要はない。
- ・今後もそれぞれ別の活動として位置付けることが望ましい。